

早稲田大学 国際教養学部 現代文 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	60分（現代文2問、古文1問）
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
(一)	「鎮守の森」をめぐる 日本文化論	問題文にやや読みにくい箇所もあるが、丹念に論理展開を追って読み進めれば、理解できる。標準的な設問である。	標準
(二)	メディア論	非常に読み易い問題文であり全問正解も可能。	易

〔総合コメント〕

問題文に硬軟の違いはあるが、設問は標準的なものばかりである。特に漢字に関する問題は全問正解しなければならないレベルである。

過去問が少ないのでまだ断言はできないが、このレベルであれば、いわゆる「早大の現代文」に対するような対策は必要ないかもしれない。しかし、油断なく学習を継続してほしい。